

多読クラブ通信(2021年3月号)

4月-6月が多読クラブ第2期となります。継続してご利用いただけるかたは3月末頃までに次期3か月分の会費の納入をお願いいたします。3月一杯で退会、休会される方は3/25頃までにご連絡のうえ、月末までに本のご返却をお願いいたします。

新規入荷本のご案内(置き置きクエストは stepworld@e-pal.co.jp まで。)

経年劣化につき、追加購入です。

Magic Adventure レベル2 x 6冊

タイトル	YL	総語数
Olivia is Gone!	0.4	500
Where is Bella?	0.4	500
Jack and the Red Lion	0.4	500
Jail of Magic	0.4	600
Story of Dark	0.4	600
Crystal of Power	0.4	600



Vera The Alien Hunter レベル2 x 6冊

Back to School	0.5	450
Dancing with Danger	0.5	460
Sour Milk	0.5	450
Price for Vera	0.5	530
Mind Cube	0.5	530
Earth's True Alien Hunter	0.5	520



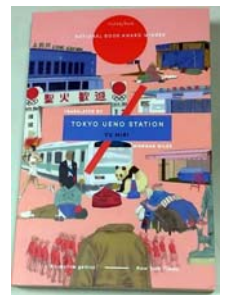
●Tokyo Ueno Station YL:4.0 総語数 40,000 (MP3 朗読音声あり)

昨年、全米図書賞の翻訳文学部門で受賞した作品で、原作は柳美里さんの「JR 上野駅公園口」です。以下、柳さんの受賞コメントです。

とても、うれしいです。『Tokyo Ueno Station』を、日本語から英語に翻訳したのは、モーガン・ジャイルズです。いま、モーガンと並んで、授賞式会場にいられないことが残念です。

わたしが暮らしている場所は、日本の福島県南相馬市です。2011年3月に爆発事故を起こした原発から16キロ地点の旧警戒区域で、わたしは、本屋を営みながら小説を書いています。

『Tokyo Ueno Station』は、南相馬市出身の男性が主人公で、会話は、ほぼ全てこの地方の方言で書かれています。日本の標準語ではないのです。翻訳の難易度が極めて高い作品です。しかも、『Tokyo Ueno Station』は、モーガンが初めて訳した長篇小説です。わたしは、モーガンを、讃えたい。そして、地震と津波と原発事故に遭い、苦難の道を歩んでいる福島県の南相馬市の住民たちと、この喜びを分かち合いたいと思います。



●多聴多読マガジン 2021年4月号

新年度だけに「今年こそ英語多読」だそうです。

